

北上市ごみ減量市民会議ニュース

～第5回 今年度の取り組み目標を検討しよう の巻～

2月26日の18時30分から、北上市生涯学習センター第2学習室で、第5回のごみ減量市民会議検討委員会が開催されました。

○今年度の到達点

- ・市民としてできること、そして企業・行政に対して行ってほしいことをまとめ、
- ・ごみ減量活動が継続的にできるように、より多くの参画者を集め、行動に移す

○本日の到達点

- ・中間報告をまとめよう

<当日のスケジュール>

I. 開会

挨拶 照井民太郎さん（ごみ減量市民会議会長）

II. 前回内容の確認

III. グループワーク

(1) これまでの議論の中ででてきた項目から、市民、行政、企業へ伝えることをまとめます。

(2) 項目ごとに、追加するもの、修正するものを話し合います

(3) それぞれの班で出された内容をもとに全体での提案を検討します。

IV. 各グループの成果発表

V. ふりかえり

<グループワーク ～ごみ減量への中間報告に向けて～ >

事務局で作成したこれまでの議論をもとにした、中間報告案について、3つの班にわかれて、議論をして、追加するもの、修正が必要なものをまとめました。

また、各班でまとめた新しい提案の中で、採用するものに関しては、シールをはりました。

この提案をもとに、市民会議委員会、そして市民集会へ提出する提言案を作成します。

<市民が行うごみ0への道> (※ () 内は賛成の票数)

○ごみの元を減らしましょう

●物を捨てないような買い方を工夫しましょう

- ・買い物は計画的に (○ 13)
- ・必要なものだけ買う
- ・事前にメモ書きをする
- ・物を買うときは衝動買いをやめましょう
- ・ゴミになるものを買わないようにしましょう (○ 3)

- レジ袋は使わないでマイバックを
 - ・買い物はマイバックで（○ 11）
 - ・外食はマイ箸で
 - ・買い物にはマイバックを持参しましょう（○ 5）

- さらにマイバックの利用しましょう

- 贈り物の包装も簡略化しましょう
 - ・過剰包装をしない、させない
 - ・過剰包装を断りましょう（○ 10）
 - ・買い物をするとき包装を断る

○リサイクルを積極的に

- 一般ゴミを資源ごみにするために分別を徹底しましょう
 - ・「一般ゴミを資源ごみにするために」削除
 - ・分別の徹底によりリサイクルを推進しよう（○ 4）

- 生ゴミは肥料化しましょう
 - ・みんなで進んで使いましょう（○ 12）
 - ・水分を十分切る
 - ・コンポストの使用
 - ・堆肥化、バケツの使用
 - ・肥料化へのネットワーク作り（活用法・利用法）
 - ・生ごみの分別・減量化（○ 7）
 - ・食べ切り対策（レストラン・各家庭・ホテル）
 - ・生ごみを乾燥させる

- 分別を徹底する
 - ・チラシ広告でのPR
 - ・「分別を徹底する」CUT（○ 11）
 - ・「分別を徹底する」削除

○みんなが気持ちよいごみ環境へ

- ゴミ袋に名前を書きましょう
 - ・ゴミ出しのルールを守る（○ 11）
 - ・「ゴミ袋に名前を書きましょう」CUT（○ 5）
 - ・みんなが気持ちの良いごみ処理の環境作りをしましょう
 - ・モラル向上

- ゴミに責任を持ちましょう
 - ・自分のごみは持ち帰りましょう
 - ・「ゴミに責任を持ちましょう」CUT（○ 6）
 - ・トレイ・ペットボトルは店へ返す指導をする

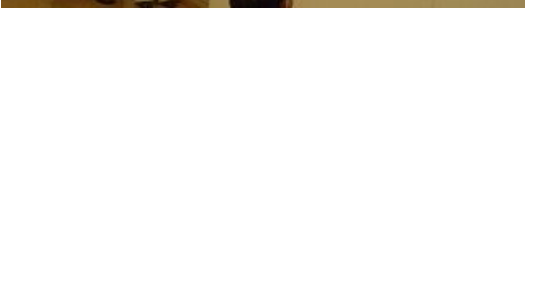
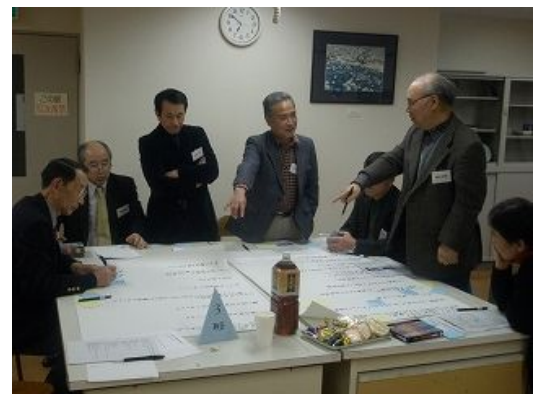
<行政が行うごみ0への道>

○リサイクルの推進しやすい環境へ

- 有料のごみ分別サービス付きのステーションの設置
 - ・生産者責任を強化する、法律改善を国に求めていく（○ 7）
 - ・有料ステーションの利用をはばむ施策になる

- 24時間、365日受け入れOKのゴミステーションの設置
 - ・ゴミステーションの増設、旧市町村間に最低一ヶ所

- 生ゴミのたい肥化への支援
 - ・「たい肥化」→「減量化」



- ・たい肥化する人へ器具の貸与等する
- ・生ごみ処理機に金額に応じた補助を
- ・たい肥化のネットワーク支援
- ・コンポスターの利用を普及させる（たい肥化）

○ごみ減量のためのPR

- 企業への協力依頼・ごみ減量のための制度策定
 - ・企業の責任で、ごみ減量
 - ・トレイ・ペットボトル収集からの徹底
- ごみ減量のためのPRと地区への協力依頼
 - ・資源ごみの出し方の徹底の指導
 - ・水洗いの徹底の指導
- 子供のころからゴミの認識強化
 - ・学校、地域
 - ・出前講座を学校でやるように指導する

<企業・団体が行うごみ0への道>

○ごみの素を減らしましょう

- レジ袋を減らす工夫をしましょう
 - ・拡大生産者責任を導入すれば良い
- トレー、パックを減らしてバラ売り、詰め替えを行いましょう
 - ・ポイント加算
 - ・リサイクルよりリデュース、リユースを優先させる
- 商品の梱包を簡単にしましょう
- 積極的なリサイクル受け入れ
- ごみからつくられるたい肥の導入しましょう
 - ・地産地消の原則確立
- リサイクル素材の積極利用しましょう

<次回の検討内容>

「ゴミ減量市民会議合同会議・市民集会」

次回は全体での意見交換を行い、今年度の内容をまとめるとともに次年度に向けた事業や方針の確認を行います。

- ふりかえり
 - ・ごみの種類にそって減量方法を考えていった方がいいと思う。常に同時にコスト意識が働き「お金がかかるから無理じゃないか」との結論になる。
 - ・企業の責任にかかる分が多くあり、私達の意見がどこまで反映されるか？また参加者が少なく、もっと多くの市民の意見が聞けるような体制をとっていくことが必要では？
 - ・リーダーの方、いつもご苦労様です。出席者が少ないのが気になりました。
 - ・良かった